

安心できる おうちがiiiiね



おかえりなさい



りごっくま™

©2023 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

地球環境にやさしく、誰もが暮らしやすい街と住まいを考えよう。



10月は住生活月間

10月は住生活月間

主催：国土交通省・地方公共団体・住生活月間実行委員会
後援（予定）：内閣府、警察庁、消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、経済産業省、環境省、
NHK、一般社団法人日本新聞協会、一般社団法人日本民間放送連盟
詳しくは、国土交通省ホームページに掲載されている「イベント・シンポジウム」をご覧ください。

このほかに10月を土地月間と定め、
土地に関わる情報も提供しています。

10月は土地月間

主催：国土交通省 協力：土地月間実行委員会 法務省 地方公共団体



住まいの情報発信局

URL <https://www.sumai-info.jp/>

住宅性能表示制度や信頼できる住まいの情報はこちらへ



地球環境にやさしい 未来の住まいについて 考えよう。

誰もが暮らしやすい住まいのために、
環境や人にやさしく、地震・災害にも強くなる工夫をいっしょに考えることが大切。
子どもからお年寄りまでさまざまな世代の人々が、
安心して暮らせる世の中になることが理想です。

10月は住生活月間。
ここちいい暮らしを叶える未来の住まいのあり方を
みんなで考える1か月です。



「住生活月間」とは

「住生活基本法」の目的である「豊かな住生活の実現」のために、
関係機関・団体等が広報活動や各種イベントを行って、
普及・啓発を図るキャンペーン月間。

「住生活基本法」の成立後、毎年10月の「住宅月間」が
2007年から「住生活月間」に改められ、
これにより「住生活」に関する幅広い分野が対象となりました。





多様化する暮らしに対応した、 住まいの豊かさを考える さまざまな取り組み。



住宅・建築物における カーボンニュートラルの実現

2050年カーボンニュートラル、2030年度の温室効果ガス46%削減（2013年度比）の実現に向け、住宅・建築物の脱炭素化を図ります。先導的な脱炭素化住宅であるLCCM住宅の整備や、省エネ化・長寿命化による良質な住宅ストックの形成を推進します。木造建築においては、炭素貯蔵効果が期待できる優良な住宅・建築物の建設を進めます。



住まいと暮らしの 安全確保

大規模な地震や豪雨などの自然災害リスクの高まりを踏まえ、災害に強いまちづくりが求められています。ハザードエリア内に建つ危険住宅の移転を促します。また、既存建築物の防火上・避難上の安全性の確保を促進し、民間事業者等や地方公共団体による建築物の火災安全改修、計画策定、普及啓発及びモデル的な取組の推進を図ります。

誰もが安心して暮らせる これからの住まいの確保

子育て世帯、高齢者など、誰もが安心して暮らせる多様な住宅環境の確保に向け、住宅セーフティネット機能の強化や子どもを産み育てやすい住まいの実現を図ります。子育て期の親同士の交流を生み出す施設の設置や、バリアフリー対策や省エネ対策等に配慮したサービス付き高齢者向け住宅の供給を進めます。



今ある住宅の有効活用と 流通市場の形成

日頃から適正なマンション管理を行い、適時適切な修繕工事の実施を強力に促し、今あるマンションの長寿命化を推進します。また、地域におけるニーズに応じた空き家の活用や移住者向け住宅の開発などを進めます。さらには、良質な住宅ストックの形成や子育てしやすい生活環境の構築により、既存住宅流通・リフォーム市場の活性化を図ります。

住宅・建築分野の DX・生産性向上の推進

社会全体のデジタル化に伴い、建築生産プロセスの効率化や建築物の質の向上に向け、「建築BIM」の社会実装の加速化を図ります。また、子どもや高齢者の見守りの確保、温熱環境の改善等のため、IoT技術を活用した先進的な住宅の普及を進めます。



住生活月間イベント

10月は“家”について考えるイベントが盛りだくさん!

この機会に、ご家族みんなでは是非参加してみませんか。

住生活月間フォーラム《WEB配信》

社会変容を踏まえた新たな住生活を考える ～時代の潮流とこれからの住まい方～

21世紀に入り顕在化した国内の人口減少・少子高齢化や環境問題といった諸問題やデジタル化を始めとした技術革新の進展は2020年代に入り更なる変容を遂げつつある。新型コロナウイルス感染症の拡大が与えた影響や2050年カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けた対応、AIを始めとする先端技術の活用に向けた動きなどを経て、我が国の社会経済は大きな変革の時期を迎えている。こうした社会変容は人々の生活の基盤でもある住宅分野においても例外ではなく、人々の住まいのニーズや選択に生じている大きな潮流の変化は一層進展していくものと考えられる。このような社会環境の大きな変化や人々の価値観の多様化に対応するために、どのような住生活のあり方が求められているのかについて議論を行う。

【開催概要】

令和5年10月26日(木)
14:00～16:30

第1部:基調講演

●講師

安達 功氏(日経BP総合研究所 フェロー)



安達 功氏



小原 隆氏



秋元 孝之氏



佐藤 有希氏



和田 貴充氏

第2部:パネルディスカッション

●コーディネーター

小原 隆氏(日経BP総合研究所 上席研究員)

●パネリスト(50音順)

秋元 孝之氏(芝浦工業大学 建築学部長・教授)

佐藤 有希氏(一般社団法人リビングテック協会 事務局
(日鉄興和不動産株式会社住宅事業本部 リビオライフデザイン総研室))

和田 貴充氏(空き家活用株式会社 代表取締役CEO)

視聴方法

住生活月間オフィシャルサイトから、
どなたでも無料で視聴いただけます。
※右のQRコードからもアクセス可能です。

<http://www.jh-a.or.jp/jyuseikatu/top.html>



申し込み不要・参加費無料

【主催】住生活月間実行委員会 【後援】国土交通省

第35回 住生活月間中央イベント

住まいフェス in 岐阜

子育ても暮らしも毎日快適な住まい

(ゼッチ)

～地震に強く、夏涼しく冬暖かなZEH水準の健康省エネ住宅～

夏涼しく冬暖かなZEH水準の省エネ住宅や、地震や災害に強く、品質の高い資産価値のある住まい、さらに子育てしやすく、家族全員が安心して快適に暮らせるこれからの住まいについて、楽しいイラストや写真の『家型のトライアングル型』パネルで紹介します。

【会 期】 2023年10月7日(土)・8日(日)

【会 場】 OKBぎふ清流アリーナ 岐阜県岐阜市葦田南2-1-1

【主 催】 住生活月間中央イベント実行委員会

【後 援】 国土交通省、住宅金融支援機構、都市再生機構、
岐阜県、岐阜市(予定)

【同時開催】 ぎふ住宅フェア2023



会場へのアクセス

公共交通機関

・岐阜バス「OKBぎふ清流アリーナ」バス停で下車、徒歩すぐ

一般道路

・国道21号「県庁前」交差点より南へ
・岐阜県道1号岐阜南濃線「県庁東」交差点より西へ

高速道路

・名神高速岐阜羽島ICから岐阜環状線経由約20分
・東海北陸自動車道岐阜各務原ICから国道21号線を西進約20分



詳しくはこちら

<https://www.jutaku-sumai.jp>

住生活月間関連行事

独立行政法人都市再生機構

令和5年度URひと・まち・暮らしシンポジウム

テーマ:都市の暮らしの歴史を学び、未来を志向する
～社会課題を、超えていく～

【日 時】令和5年10月26日(木) 13:00～17:15(予定)
【会 場】有楽町朝日ホール(東京都千代田区)
UR都市機構で実施したプロジェクト、調査研究等の報告のほか、外部有識者によるパネルディスカッション・基調講演を行います。
詳細はHPIにて➡<https://www.ur-net.go.jp/rd/houkokukai/2023/>

一般財団法人住宅生産振興財団 日本経済新聞社

第35回住生活月間協賛まちなみシンポジウム

テーマ:「住まい・住宅地の安全を考える」-防災と防犯の観点から-

【日 時】令和5年10月23日(月) 14:00～17:00(予定)
【後 援】国土交通省、(独)住宅金融支援機構、(独)都市再生機構
まちづくり関連のシンポジウムを日経チャンネルにてオンライン配信で行います。
詳細はHPIにて➡ <https://www.machinami.or.jp/>

一般財団法人住宅金融普及協会

住宅ローンアドバイザーセミナー

テーマ:「住宅ローンの金利決定メカニズムと金利上昇への備え
～借り換えと繰り上げ返済等への備え～」

【開催日】令和5年10月中
【会 場】収録映像をホームページにてWEB配信します。
講師は、(株)ニッセイ基礎研究所金融研究部上席研究員「金融調査室長」福本勇樹氏です。
詳細はHPIにて➡ <https://www.sumai-info.com/>

公益財団法人日本賃貸住宅管理協会

賃貸住宅の住環境向上セミナー

テーマ:安心・安全・住環境の向上

【期 間】令和5年10月中
【会 場】全国46都道府県 全国52会場
【後 援】国土交通省
経験豊富な講師陣が、賃貸住宅の経営・運営管理に役立つ最新情報を提供します。
詳細はHPIにて➡ <https://www.jpmm.jp/seminar/>

一般社団法人リビングアメニティ協会

第12回住宅部品点検の日シンポジウム

テーマ:居住者による住宅部品の点検を通じた、アフター関係性強化
～消費者調査からみたビジネスの可能性～

【日 時】令和5年10月4日(水) 14:00～16:30
会場よりWEB配信で行います。
【後 援】国土交通省、経済産業省、消費者庁、(独)住宅金融支援機構、他有識者によるセミナー、協会報告の他、上記テーマについてパネルディスカッションを開催します。
詳細はHPIにて➡ <https://tenken1010.org/>

一般財団法人住まいづくりナビセンター

① 比べてみよう!初めての住宅展示場見学会

家づくりを検討している方向けの見学会
【日 時】令和5年10月21日(土) 13:00～16:30
【場 所】住宅展示場(ハウジングステージ新宿)

② 家を建てるなら知らなきゃ損!

①土地探し編 ②新築・建替え編
【日 時】令和5年10月14日(土) ①13:00～14:00 ②14:15～15:15
【会 場】住まいづくりナビセンター(オンライン受講可)
詳細はHPIにて➡<https://www.sumanavi.info/event/>

一般社団法人住宅リフォーム推進協議会

住宅の長寿命化リフォームシンポジウム

テーマ:住宅の長寿命化リフォームシンポジウム
～健康で快適な暮らしをリフォームで実現～

【日 時】令和5年10月20日(金) 13:15～16:00
【会 場】星陵会館(東京都千代田区永田町)※WEB配信も予定しています
【後 援】公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター
詳細はHPIにて➡<https://www.j-reform.com/>

日本木造住宅耐震補強事業者協同組合

木耐協 オンラインセミナー

テーマ:地震による津波に備える&実家の片づけ

【日 時】令和5年10月21日(土) 10:00～11:45
【協 力】一般社団法人防災教育普及協会
【後 援】あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
【講 演】「地震による津波災害にそなえるために」東北大学 今村文彦教授
「実家の片づけの始め方」日本ホームステージング協会 杉之原富士子代表理事
詳細はHPIにて➡<https://www.mokutaikyo.com/>

木材利用推進中央協議会

令和5年度木材利用推進「全国会議」

テーマ:我が国における木材利用の一層の推進

【日 時】令和5年10月30日(月)
【場 所】木材会館(東京都江東区新木場)(予定)
【後 援】農林水産省、国土交通省、環境省、文部科学省、森林(もり)を活かす都市(まち)の木造化推進協議会
「令和5年度木材利用優良施設等コンクール」の受賞者の表彰式、記念講演
詳細はHPIにて➡<https://www.jcatu.jp/home/>

■「都市・住宅団地の再生」に関する調査研究発表会

【主 催】公益財団法人アーバンハウジング

■第19回「台所・お風呂の川柳」入賞作品発表

【主 催】キッチン・バス工業会

■第40回住まいのリフォームコンクール表彰式・入賞作品web公開等

【主 催】公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター

■第26回木のある暮らし作文コンクール表彰式

【主 催】一般社団法人日本木造住宅産業協会

■マンション管理基礎セミナー

【主 催】公益財団法人マンション管理センター

■住教育セミナー

【主 催】一般社団法人全国古民家再生協会

■住まいについて楽しく学ぶ!～住教育カードゲーム～

【主 催】一般社団法人住教育推進機構

関連行事は他にもあります。詳しくは、
(一社)日本住宅協会のホームページをご参照ください。

▶<http://www.jh-a.or.jp/jyuuseikatu/top.html>

住生活月間実行委員会

- | | | |
|--------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 独立行政法人住宅金融支援機構 | 一般社団法人新都市ハウジング協会 | 一般社団法人プレハブ建築協会 |
| 独立行政法人都市再生機構 | 一般社団法人石膏ボード工業会 | 一般社団法人マンション計画修繕施工協会 |
| 公益社団法人商業施設技術団体連合会 | 一般社団法人全国建設業協会 | 一般社団法人マンションリフォーム推進協議会 |
| 公益社団法人全国公営住宅火災共済機構 | 一般社団法人全国建設室内工事業協会 | 一般社団法人リビングアメニティ協会 |
| 公益社団法人全国市街地再開発協会 | 一般社団法人全国古民家再生協会 | 一般財団法人建材試験センター |
| 公益社団法人全国宅地建物取引業協会連合会 | 一般社団法人全国住宅供給公社等連合会 | 一般財団法人建築行政情報センター |
| 公益社団法人全国宅地擁壁技術協会 | 一般社団法人全国住宅産業協会 | 一般財団法人建築コスト管理システム研究所 |
| 公益社団法人全日本不動産協会 | 一般社団法人全国浄化槽団体連合会 | 一般財団法人高齢者住宅財団 |
| 公益社団法人日本建築家協会 | 一般社団法人全国木材組合連合会 | 一般財団法人住宅改良開発公社 |
| 公益社団法人日本建築士会連合会 | 一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会 | 一般財団法人住宅金融普及協会 |
| 公益社団法人日本建築積算協会 | 一般社団法人都市環境エネルギー協会 | 一般財団法人住宅建築・SDGs推進センター |
| 公益社団法人日本しろあり対策協会 | 一般社団法人日本空調衛生工事業協会 | 一般財団法人住宅産業研修財団 |
| 公益社団法人ロングライフビル推進協会 | 一般社団法人日本建設あと施工アンカー協会 | 一般財団法人住宅生産振興財団 |
| 公益財団法人アーバンハウジング | 一般社団法人日本建設業連合会 | 一般財団法人住宅保証支援機構 |
| 公益財団法人建築技術教育普及センター | 一般社団法人日本建設組合連合 | 一般財団法人首都圏不燃建築公社 |
| 公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター | 一般社団法人日本建築協会 | 一般財団法人住まいづくりナビセンター |
| 公益財団法人日本住宅総合センター | 一般社団法人日本建築構造技術者協会 | 一般財団法人日本建築設備・昇降機センター |
| 公益財団法人日本住宅・木材技術センター | 一般社団法人日本建築士事務所協会連合会 | 一般財団法人日本建築センター |
| 公益財団法人日本賃貸住宅管理協会 | 一般社団法人日本シャッター・ドア協会 | 一般財団法人日本建築防災協会 |
| 公益財団法人マンション管理センター | 一般社団法人日本住宅協会 | 一般財団法人ベターリビング |
| 一般社団法人建設広報協会 | 一般社団法人日本住宅リフォーム産業協会 | キッチン・バス工業会 |
| 一般社団法人建設産業専門団体連合会 | 一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会 | 住宅展示場協議会 |
| 一般社団法人建築設備技術者協会 | 一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会 | 全国建設労働組合総連合 |
| 一般社団法人コンクリートパイル・ポール協会 | 一般社団法人日本ビルディング協会連合会 | 日本外壁仕上業協同組合連合会 |
| 一般社団法人再開発コーディネーター協会 | 一般社団法人日本膜構造協会 | 日本建設インテリア事業協同組合連合会 |
| 一般社団法人住教育推進機構 | 一般社団法人日本木造住宅産業協会 | 日本合板工業組合連合会 |
| 一般社団法人住宅瑕疵担保責任保険協会 | 一般社団法人日本ログハウス協会 | 日本室内装飾事業協同組合連合会 |
| 一般社団法人住宅生産団体連合会 | 一般社団法人不動産協会 | 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合 |
| 一般社団法人住宅リフォーム推進協議会 | 一般社団法人不動産流通経営協会 | 木材利用推進中央協議会 |

(以上87団体) 令和5年8月現在

お問い合わせ先

住生活月間実行委員会事務局 (一般社団法人 日本住宅協会内)

TEL.03-3291-0881 FAX.03-3291-0885 <http://www.jh-a.or.jp/>

